

団体名 廃校再生サミット／山口 (山口市)

代表者名	中村 久	団体の目的
構成員数	団体会員 11、個人会員 2	・県内で今後増加してくる「廃校」について、情報交換を通じて課題や問題を共有することで、課題の解決を図り、活用方法を模索するとともに、自立した地域活動を推進する
設立	H28年6月	
問い合わせ先	☎083-927-7922 (博友舎 國安)	

事業名 廃校を再生して地域の活動の拠点にする事業

- 事業の目的**
- ・廃校の問題について情報交換し、課題や問題を広く共有する
 - ・廃校を地域の活性化に役立てる

- 事業の内容**
- ①廃校再生サミットイベント「バンブーバイクでサイクルトレイン」の開催
日にち：4月20日(木) 内容：錦川鉄道を使ってのサイクルトレイン
 - ②「第2回廃校再生サミット／山口」の開催
日にち：4月21日(金) 場所：旧河山小学校(岩国市)
「廃校の校舎活用と規制緩和」をテーマにオープンディスカッションを実施
 - ③「オープンキャンパス THE 廃校 in 青海島共和国」の開催
日にち：8月27日(日) 場所：旧青海島小学校(長門市)
ラビニア・エリシアさん(インドネシア大学講師)を招き講演とワークショップを開催

- 事業の成果**
- ・サミットの開催により、岩国市旧河山小学校の活用を推進する地域の団体「廃校を活用し岩国の宝にする会」の実質的なスタートに貢献でき、岩国市や徳山大学と協働による校舎の活用を検討していく基盤が整った
 - ・市民の廃校に対する理解を深めることができた
 - ・助成事業で作成したテキスト「廃校 ニアのていあん」により、廃校の活用を検討する他地域の団体と、これまでの成果を共有することができた

活動現場レポート！ 「オープンキャンパスTHE廃校in青海島共和国」(H29.8.27/青海島共和国)

この日は、「オープンキャンパス」が開催され、県内各地から35人が参加されました。

まず、「青海島共和国」の建国の経緯や現在の活動等について説明された後、インドネシア大学講師で、インテリアデザイナーや景観写真家としても活躍中のラビニア・エリシアさんが、当会と一緒に作成された冊子をテキストにして講演されました。

インドネシアでは人口急増のため小学校が不足しているそうで、日本の廃校問題にはとても衝撃を受けておられ、「廃校は引き続き活用されるべき」と様々な活用例を提案されていました。

最後に、廃校舎の新たな使い方を検討するワークショップが行われ、交流拠点としての機能をどう果たすかなど熱心に意見交換されていました。

山口県では、これからも廃校が多く発生してくると思われれます。校舎を地域の資源としてどのように活用していくか、地域共通の課題として誰もが真剣に考えていく必要があります。



廃校の活用について意見交換

